



LOVE-EARTH®



2025年度 活動報告

ガンゼラブアース  
倶楽部

## グンゼラブアース倶楽部 会員様へ

「グンゼラブアース倶楽部」は、2006年4月、グンゼ株式会社の創業110周年を記念し設立され、以来社会貢献活動を行っている団体への支援を続け、今年で21年目を迎えました。

あらためてみなさまのご協力に感謝いたします。

持続可能な社会の実現に向けて、環境、子ども、健康といった分野を中心にグンゼグループならではの支援を続けていきます。

引き続き会員の皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年 6月

代表幹事 中嶋 順子

### CONTENTS

P2

#### 活動報告

2025年 活動内容 / 決算・監査報告 / 支援先団体について

P4

#### 支援先紹介

特定非営利活動法人 アムダ (AMDA)

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)

認定NPO法人 ブリッジフォースマイル

一般財団法人 みらいこども財団

公益財団法人 Save Earth Foundation

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 (子どもの笑顔はぐくみプロジェクト)

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

NPO法人 チームふくしま



# 活動報告

## ■支援先団体について

2025年度は8団体に支援を実施いたしました。

支援先(略称)	支援回数	物品支援
アムダ (AMDA)	16	肌着
J.POSH	14	肌着
ブリッジフォースマイル	10	肌着
みらいこども財団	8	肌着
滋賀県社協 地域福祉課はぐくみ	3	肌着
Save Earth Foundation	6	苗木
京都モデルフォレスト協会	3	緑の募金
NPO法人チームふくしま	1	ひまわり防災検定 受検費用
※事業所支援備品制作	1	GUNZEキャップ



## 2025年度よりラブアース倶楽部は 新たな取組みを始めました

### ●事業所支援

各事業所での地域貢献活動へグンゼラブアース倶楽部から物品提供を行います。  
2025年は11月に開催された琵琶湖湖岸一斉清掃「ごみゼロ大作戦」や、びわこ地球市民の森「育樹のつどい」に参加された守山工場の皆さんにGUNZEキャップを配布しました。



# 01

<支援先紹介>

## 特定非営利活動法人 アムダ (AMDA)

<https://amda.or.jp>

〒700-0013

岡山県岡山市北区伊福町3-31-1

TEL 086-252-7700

# AMDA



子ども食堂に参加する子ども達

### ■2025年度活動報告

「相互扶助」の理念のもと、2025年度も国内外で緊急支援活動を行いました。大地震や豪雨、洪水に見舞われたミャンマー、フィリピン、インド、インドネシア、スリランカなどの被災者へ医療や物資を届けたほか、東日本大震災の復興支援、子ども食堂、ウクライナ人道支援、モンゴルやネパールの内視鏡技術指導、インド母子保健など支援を必要とする人々に寄り添い続けました。

### ■今後の活動予定について

平和を阻害する災害、紛争、貧困に苦しむ人々に対して、保健医療を中心とした支援をしていきます。国内外の復興支援や子ども食堂、インド母子保健などの継続事業にも引き続き取り組むほか、大規模災害に備え、防災訓練や備蓄食料の充実、緊急救援ネットワークの連携強化に努めます。

### ■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

インドで母子保健の指導を受ける妊婦さん、岡山県内の子ども食堂に参加する子ども達、宮城県仙台市の路上生活者の方々に提供しました。妊婦さんからは「こんなに肌触りが良く、快適な肌着は初めて」、子ども食堂の関係者からは「物価高の折、子どもの成長に合わせた肌着はとても嬉しい」との声をいただき、路上生活者の方々からも生活必需品として重宝されました。

### ■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

継続的なご支援、心より感謝申し上げます。いただいた肌着は、厳しい状況に置かれている妊婦さんや路上生活者の方々、成長期の子ども達にとっても喜んでいただけました。今後も多くの方々へ温かい支援を届けられるよう活動を続けてまいります。



肌着を受け取る路上生活者の方々



肌着を受け取るインドの妊婦さん

## <支援先紹介>

### 認定NPO法人 J.POSH

(日本乳がんピンクリボン運動)

<https://www.j-posh.com>

〒538-0043

大阪府大阪市鶴見区今津南2-6-3

TEL 06-6962-5071



## ■2025年度活動報告

プレスト・アウェアネスの周知を図り、J.POSHの啓発ティッシュを名古屋ウィメンズマラソンの参加者約2万人全員に提供し、25年度は、初めてマラソンEXPOの会場で、触診モデル体験ブースを出展し、マラソン時につけてもらうピンクリボンを配布しました。



リバイバーさんや乳腺関係の有志の医療者さん達が作られた  
ピンクリボン約2400個

## ■今後の活動予定について

今年の10月は、J.POSHが活動を始めて四半世紀、25回目となるピンクリボン月間という事もあり、ピンクのリボンを多くの場所やイベントで使って盛り上げて頂けるようなプログラムを計画中です。



乳がん治療中ママの子育て支援



## シッターサポートプログラム

乳幼児を育てながら、抗がん剤治療、あるいは放射線治療を受けられている乳がん患者さんのために、お子さんの一時保育を依頼するため等に係る費用の一部を補助致します。

治療中のお母様、そしてお子さんの双方にとって安心できる環境のもと、お母様がひとときでもゆっくと養生できればと願っています。



触診モデル体験ブース

## ■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

2025年にご提供いただきましたメディキュアインナーにつきましては、埼玉県で活動されているNPO法人くまがやピンクリボンの会様に送らせていただきました。毎月、サバイバー茶話会を開催されていて、様々な体格の方がおられるので、サイズが豊富でありがたいですとの感謝の言葉をいただきました。

## ■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

J.POSHの主要なプログラムの1つ「奨学金まなび」では、乳がん治療中、或いは残念にも亡くなられた保護者をもつ高校生に対して、返済不要の奨学金を支給しています(年間75名)。今年の卒業生からは2名が超難関国立大学に進学するとの報告がありました。学歴がすべてではないものの「奨学金のおかげで勉強に集中できました」とのお礼の言葉は、支援の甲斐があったと嬉しいニュースでしたので、皆様にもご報告させていただきます。

知ってる? プレストアウェアネス

乳がん検診する生活習慣のこと。ポイントはい-

- ①自分の乳房の状態を知る
- ②乳房の変化に気づく
- ③変化に気づいたらすぐ医師に相談する
- ④40歳になったら、2年に1回乳がん検診を受ける

9人に1人が乳がんになる時代  
あなたもセルフチェックを習慣に!

【セルフチェック】  
鏡の前で乳房の輪郭や大きさを  
かみかみしたたけ、色、  
しこりなど確認する

【医師による検診】  
40歳で100の検診率  
50歳で100の検診率  
60歳で100の検診率  
70歳で100の検診率

【医師による検診】  
乳がん検診センター  
医師による検診

【医師による検診】  
40歳で100の検診率  
50歳で100の検診率  
60歳で100の検診率  
70歳で100の検診率

認定NPO法人 J.POSH  
〒538-0043 大阪府大阪市鶴見区今津南2-6-3  
TEL 06-6962-5071 [info@j-posh.com](mailto:info@j-posh.com)

J.POSH  
www.j-posh.com

J.POSH  
日本乳がんピンクリボン運動

乳がん検査を受けましょう  
早期発見・早期治療で笑顔の暮らし

<支援先紹介>

認定NPO法人  
ブリッジフォースマイル

<https://www.b4s.jp>

〒107-0062

東京都港区南青山3-1-30

PASONA SQUARE

TEL 03-6842-6766

Bridge for Smile



食事支援

■2025年度活動報告

2024年の法改正を受けて開設したLINE相談支援窓口は、1年を通じて多くのケアリーバーから相談が寄せられ、社会的養護とつながりのなかった若者にも支援が届く体制が整ってきました。また、住まいを失いかけた若者を一時的に受け入れる「緊急ショートステイ」は、生活再建に向けた重要なセーフティネットとして機能しています。



相談支援

■今後の活動予定について

ブリッジフォースマイルが長年取り組んでいる、児童養護施設退所前の「予防的支援」の重要性を強く発信していく予定です。また、「社会的養護自立支援拠点事業」を新たに神戸市と柏市で担うことで、10か所での受託となり、地域格差・施設間格差の是正に一層力を入れ、子ども・若者たちの自立支援を行っていきます。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご寄付いただいた肌着は今年も18歳で施設や里親家庭を巣立つ若者へ、寄付仲介サイト「トドクン」を通じて届けました。真新しい肌着で新生活を始められる喜びは大きく、子どもたちからは感謝の声が届いています。良質な贈り物は、社会へ出る彼らに「応援してくれる大人がいる」という心強さと、未来への勇気を与えてくれました。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

長年のご支援に深く感謝いたします。社会が激しく変化する中でも、変わらぬ皆さまの想いが子どもたちの自立の道を照らしています。誰もが未来に希望を持てる社会を目指し、今後も共に歩んでいただけますと幸いです。



アトモイベント

<支援先紹介>  
**一般財団法人  
 みらいこども財団**

<https://miraikyousou.com>

〒540-0026

大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

オフィスポート内本町 1108号

TEL 050-3530-1083



## ■2025年度活動報告

みらいこども財団は2025年度、全国の児童養護施設へ延べ999回の訪問を実施し、子どもたちとの深い交流を重ねてまいりました。特筆すべきは、当財団が設立当初から掲げてきた「卒園後の伴走支援」が結実し、今年度は50名の若者への継続的なサポートを実現できた点です。施設内でのケアから社会への自立まで、「一度つないだ手を離さない」支援が着実に形となっています。

## ■今後の活動予定について

現在の児童養護施設を取り巻く環境において、地方の施設ほど社会との接点や多様なロールモデルに出会う機会が限られています。関東・関西のみならず地方施設への訪問をさらに強化し、単なる一時的な訪問で終わらず、その地域で「子どもたちを支える優しい大人のコミュニティ(ボランティア)」を育成・組織化し、持続可能な支援を構築することを目指します。

## ■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

この度、グンゼラブアース倶楽部様より賜りました多大なるご寄付(商品)は、福島県の児童養護施設「白河学園」へと届けさせていただきました。このご縁をきっかけとして、2026年8月には総勢10数名のボランティアクルーによる同施設への訪問が決定しております。物品の提供のみならず、実際に「顔の見える関係」を築き、継続的な心のケアを届けてまいる所存です。

## ■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

日頃より当財団の理念に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆様からいただいた商品は、単なる物資としての価値を超え、私たちが福島県の施設へと一歩踏み出し、子どもたちとの絆を紡ぐ「最高のきっかけ」となりました。



## &lt;支援先紹介&gt;

## 公益財団法人 Save Earth Foundation

<https://save-earth.or.jp>

〒144-0043

東京都大田区羽田1-1-3 大鳥居京急第一ビル

TEL 03-5737-2744



### ■2025年度活動報告

2024年度より開始した勉強会「森林アカデミー」を通して、私たちだけでなく、多くの会員企業へ森づくりに参加する機会を提供することができました。

また、森林活動の実践の場として、7社から始まった岩手県陸前高田市の「企業等による森づくり制度」には、新たに1社・1校が加わりました。各地で続々と森開きが行われ、活発に活動をスタートしています。

### ■今後の活動予定について

今後も、会員企業の皆様が森林に深く関わり、自然を身近に親んでいただけるよう、「森林アカデミー」を通して、自社で協定林を持って活動に参画していくための支援を続けてまいります。また、日本の豊かな自然を未来に残していくための次世代育成として、小・中・高校生を対象とした、自然について学ぶ「森林環境教育」にもさらに力を入れて活動していく計画です。



### ■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご支援いただきました苗木計150本は、千葉県山武市と協定を締結し森林再生保全活動を行う「日向(ひゅうが)の森」にて、2026年5月9日(土)に開催した植樹会にて大切に植樹いたしました。今回は、伝統的な林業地として、将来的に木材として収穫を行うエリアでの植樹を計画していたため、グンゼ様からヒノキを中心とした苗木をご寄贈いただけたことに、心より感謝申し上げます。

### ■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

本年も苗木をご寄贈いただきましたおかげで、大変盛況な植樹会を開催することができました。今回は多くの子供たちが参加してくれたため、植樹だけでなく、森に親んでもらうための自然観察イベントもあわせて実施いたしました。次世代へとつながる、未来の子供たちのための豊かな森づくりを今後も進めたいと思います。温かいご支援に、改めて深く感謝申し上げます。



「日向の森」植樹会



5月9日の「日向の森」植樹会に参加されたメンバー



自然観察イベント

<支援先紹介>

**社会福祉法人  
滋賀県社会福祉協議会  
(子どもの笑顔はぐくみプロジェクト)**

<https://shiga-hug.jp/>

〒525-0072

滋賀県草津市笠山7丁目8番地138号

県立長寿社会福祉センター内

TEL 077-567-3924

子どもの笑顔  
はぐくみプロジェクト



■2025年度活動報告

子どもを真ん中においた地域づくりをさらにすすめるため、ホームページやSNS・広報紙等での情報発信及び子ども食堂フェスタ等での広報啓発活動を実施しました。また、滋賀県内250ヶ所以上にひろがる子ども食堂及びフリースペースの開設・運営支援等を実施しました。



■今後の活動予定について

2027年度に10周年を迎える「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」について、「子どもの笑顔」のスポンサーやサポートの更なる拡大・拡充をすすめていきます。また、活動団体に学び合い・つながり合える場を提供するとともに、助成金の交付、食材・物品の提供など、関係機関と連携しながら継続的サポートを実施します。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

いただいたご寄付は、県内子ども食堂等全26団体を通じて、ひとり親世帯や生活困窮世帯のご家庭にお届けしています。物価高騰が続くなか、肌着などの生活必需品のニーズも引き続き高い状況にあります。子どもたちの心身の健康のための大変ありがたいサポートとなっています。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

生活必需品が全体的に高騰しているなか、提供先の団体からは「子どもたちに新品の肌着をプレゼントできてよかった」「サイズも色々いただけてありがたい」という声をいただいております。継続的にサポートいただき心より感謝申し上げます。



# 07

<支援先紹介>

## 公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

[https://  
www.kyoto-modelforest.jp/](https://www.kyoto-modelforest.jp/)

〒604-8424

京都市中京区西ノ京樋ノ口町123

京都府林業会館3階

TEL 075-823-0170



### ■緑の募金へ協力

公益社団法人京都モデルフォレスト協会は「緑の募金法」に基づき、京都府から緑化推進委員会の指定を受け、募金運動を展開するとともに、京都の豊かな森とみどりを次世代へつなぐ取り組みを推進しています。

グンゼは公益社団法人京都モデルフォレスト協会と「森林の利用保全に関する協定」を締結し、創業の地・綾部の市内2ヵ所で竹の伐採や遊歩道の整備など、里山保全のボランティア活動を協力して行っています。

集まった募金は森林を守り育てる活動に活かされます。



# 08

<支援先紹介>

## NPO法人 チームふくしま

[https://  
lit.link/teamfukushima](https://lit.link/teamfukushima)

〒960-8055

福島県福島市野田町六丁目7番8号

ツインコートB-103

TEL 024-563-7472



### ■ひまわり防災検定

NPO法人チームふくしまが主催する「ひまわり防災検定」リーダーコース(旧:3級)に各事業所から応募いただいた8名の方に受検いただきました。東日本大震災の「記憶を風化させないこと」と「自分事として考えること」をテーマとしたワークショップで、復興支援にもつながっています。

NPO法人チームふくしまの「福島ひまわり里親プロジェクト」(ひまわりを通じた福祉雇用創出・観光促進・防災教育普及等へつなげる復興支援事業)には、チーム創立以来ずっとグンゼも参加しています。



ワークシート

明日をもっと、**こころ**よく

**GUNZE**